

1. 調査報告概要表

作成日 平成19年12月20日

【評価実施概要】

| | |
|-------|--------------------------------------|
| 事業所番号 | 1070200876 |
| 法人名 | 医療法人社団 醫光会 |
| 事業所名 | グループホーム めだか |
| 所在地 | 群馬県高崎市上豊岡町896-1 (電話) 027-344-6101 |
| 評価機関名 | サービス評価センターはあとらんど |
| 所在地 | 群馬県前橋市大友町2-29-5 |
| 訪問調査日 | |

【情報提供票より】(19年10月31日事業所記入)

(1) 組織概要

| | |
|-------|-------------------------------|
| 開設年月日 | 昭和(平成) 13 年 1 月 1 日 |
| ユニット数 | 1 ユニット 利用定員数計 9 人 |
| 職員数 | 8 人 常勤 5 人, 非常勤 3 人, 常勤換算 5.4 |

(2) 建物概要

| | |
|------|------------------|
| 建物構造 | 木造平屋 造り |
| | 1 階建ての 階 ~ 1 階部分 |

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

| | | | | |
|---------------------|------------|----------------|-----|-------|
| 家賃(平均月額) | 1,700×日数 円 | その他の経費(月額) | 円 | |
| 敷金 | 有(円) 無 | | | |
| 保証金の有無 (入居一時金含む) | 有(円) 無 | 有りの場合 償却の有無 | 有/無 | |
| 食材料費 | 朝食 | 200 円 | 昼食 | 300 円 |
| | 夕食 | 300 円 | おやつ | 90 円 |
| | または1日当たり 円 | | | |

(4) 利用者の概要 (10月31日現在)

| | | | | | |
|-------|-----------|------|------|----|------|
| 利用者人数 | 9 名 | 男性 | 3 名 | 女性 | 6 名 |
| 要介護1 | 2 名 | 要介護2 | 4 名 | | |
| 要介護3 | 3 名 | 要介護4 | | | |
| 要介護5 | | 要支援2 | | | |
| 年齢 | 平均 85.6 歳 | 最低 | 80 歳 | 最高 | 92 歳 |

(5) 協力医療機関

| | |
|---------|-------------------|
| 協力医療機関名 | はぎわら内科医院 ひろかみ歯科医院 |
|---------|-------------------|

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

このホームは系列の施設との協力体制に留まることなく、地域との連携を積極的に図り、利用者の生活を支援する取り組みがなされている。地区の運動会やボランティアの受け入れ、系列の福祉施設と合同のイベント等でも地域の方との交流の機会を作っている。利用者の生涯学習に取り組み、講師を招き書道や100歳体操等を職員と共に行い、利用者の力量の発揮、身体機能低下の抑止や維持に楽しみながら取り組んでいる。利用者は日々活躍の場面で力量を発揮しながら、楽しく、ゆったりと自分のペースで過ごされている。

【重点項目への取り組み状況】

| | |
|-------|---|
| 重点項目① | <p>前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>玄関の鍵の問題につき、運営推進会議で話し合い、家族から安全確保のために鍵をかけてほしいという要望があり、イベント等で人手がある時以外は鍵をかけている。入浴については、利用者の希望やタイミングに添って支援をしている。また、職員体制については検討の段階にある。</p> |
| | <p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>サービス評価の意義や目的は全職員に伝えているが、自己評価には管理者一人で取り組んでいる。</p> |
| 重点項目② | <p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)</p> <p>事業所の状況やイベント計画等を報告し、参加者から意見や要望を聴いている。会議では参加者から活発に意見・情報交換が行われている。前回の評価結果で、玄関の鍵について話し合いを行った結果、安全確保のためにイベント等で人手がある時以外は鍵をかけることになった。入浴支援は、希望やタイミングに応じられるよう、入浴日や職員体制の検討段階である。</p> |
| 重点項目③ | <p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)</p> <p>家族来訪時に金銭・健康面・暮らしぶり等の報告をしており、必要時には電話で相談や報告をしている。月1回ホーム便り(めだか便り)を発行し、行事の様子や暮らしぶりを写真で伝えている。運営推進会議に家族全員に呼びかけて参加してもらい、意見や要望を聴いて運営に反映をさせている。また、意見箱も設置したり、何でも話しやすい雰囲気づくりに配慮している。</p> |
| 重点項目④ | <p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>近隣者から花や野菜を頂く、地区の運動会に応援、ボランティア、小・中・高生の職場体験の受け入れ、系列の福祉施設と合同の秋祭り等で地域との交流を図っている。運営推進会議には地域の方の参加や事業所のイベントなどで一緒に楽しむながら交流している。</p> |

2. 調査報告書

(部分は重点項目です)

取り組みを期待したい項目

| 外部 | 自己 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (○印) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|-----------------------|----|---|--|------|---|
| I. 理念に基づく運営 | | | | | |
| 1. 理念と共有 | | | | | |
| | 1 | ○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている | 地域密着型サービスとしての運営理念の見直しは行なっていない。 | ○ | 地域密着型サービスとしての役割を理解し、利用者や職員で地域との連携を図ってはいるが、地域との関係性を意識した事業所独自の理念を掲げるようにしてほしい。 |
| | 2 | ○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる | 管理者は運営理念に基づき、毎日の生活が楽しく・明るく過ごせるように職員会議や日々の中で語り、職員と共有をし実践に取り組んでいる。 | | |
| 2. 地域との支えあい | | | | | |
| | 5 | ○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている | 近隣者から花や野菜を頂く、地域の運動会の応援、ボランティアや小・中・高校生の職場体験の受け入れ、系列の福祉施設と合同の秋祭り等の機会を通じて地域との交流を図っている。 | | |
| 3. 理念を実践するための制度の理解と活用 | | | | | |
| | 7 | ○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる | サービス評価の意義や目的は全職員に伝えているが、自己評価には管理者一人で行っている。前回の評価の結果を基に入浴や玄関の鍵の問題について話し合われている。入浴は職員体制のことを検討中であり、鍵についてはイベント等で人手がある時に開放している。 | ○ | 自己評価は、毎日の一連の過程を全職員で取り組むことにより、日々のケアの振り返りや見直し等の機会となるので全職員で取り組んでほしい。 |
| | 8 | ○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている | 事業所の状況やイベント計画の報告を行い意見や要望を聴いている。参加者自らイベントに参加したらどうかという意見があり、参加をしてもらい感想も頂いている。評価結果を報告し鍵の問題について活発に論議されている。 | | |

| 外部 | 自己 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (○印) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|-----------------|----|---|--|------|---|
| 6 | 9 | <p>○市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p> | <p>運営推進会議以外には事業所のイベントに市の担当者が参加してくれている。介護相談員の受け入れ等の連携もあるが、事業所から窓口を訪れることはない。</p> | ○ | <p>事業所から積極的に市の窓口を訪れる機会をつくり、運営推進会議以外にも連携を図るようにしてほしい。</p> |
| 4. 理念を実践するための体制 | | | | | |
| 7 | 14 | <p>○家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている</p> | <p>家族の来訪時に金銭・健康面の報告を行っており、必要時は電話で相談や報告をしている。月1回ホーム便り(めだか便り)を発行し、行事の様子や暮らしぶりを写真で伝えている。</p> | | |
| 8 | 15 | <p>○運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p> | <p>運営推進会議には家族全員に呼びかけて参加をしてもらい意見や要望等を聴いている。また、家族の来訪時に暮らしぶりを報告し意見や要望を聴き、運営に反映させている。意見箱の設置もされている。</p> | | |
| 9 | 18 | <p>○職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p> | <p>職員の異動時には、利用者と職員でお別れ会を開いたり、新しい職員が入った場合も利用者を紹介を行い、馴染みの関係が出来るように配慮している。</p> | | |
| 5. 人材の育成と支援 | | | | | |
| 10 | 19 | <p>○職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p> | <p>法人内研修や外部研修に参加をし、職員会議等で報告を行い共有している。事例発表にも積極的に取り組むようにしている。</p> | | |
| 11 | 20 | <p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p> | <p>系列の事業所との交流を密にし、相互の活動を通じサービスの質の向上を図るようにしている。地域密着型サービス連絡協議会主催の研修会に参加し交流を図っている。</p> | | |

| 外部 | 自己 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (○印) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|------------------------------------|----|--|--|------|---|
| Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援 | | | | | |
| 1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応 | | | | | |
| 12 | 26 | ○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している | 家族の見学や入院中であれば病院へ行き、本人と面会する等で馴染みになるようにしている。やむを得ず、すぐに利用になった場合は、家族からの情報を基に安心感を持ってもらえるよう支援をしている。 | | |
| 2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援 | | | | | |
| 13 | 27 | ○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜ぶ哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている | 支援する側・支援される側という一方通行ではなく、お互いに協働して生活をし、「おたがいさま」と言う気持ちで感謝をする関係が築かれている。また、職員は人生の先輩者として教えられることが多くある。 | | |
| Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント | | | | | |
| 1. 一人ひとりの把握 | | | | | |
| 14 | 33 | ○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している | 日々のかかわりの中で言葉かけから把握に努めている。言葉や表情などから真意を推し測ったり、それとなく確認をするようにしている。利用者の中には、はっきりと意志を伝え、希望に応じた役割を持ち力量を発揮している。 | | |
| 2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し | | | | | |
| 15 | 36 | ○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している | 本人や家族には思いや意見を聴き、反映をさせるようにしている。職員会議やカンファレンスで意見交換を行い介護計画に反映させている。 | | |
| 16 | 37 | ○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している | 定期的見直しは3ヶ月ごとを目安に行っている。生活状況や状態の変化に伴い随時見直しをしている。 | ○ | 安定しているような利用者の場合も、月に1回程度はモニタリングを行い本人や家族の意向を確認するとともに、職員の気づき・情報を基に、状態の変化の兆しに予防的に対応していくための介護計画の見直しをしてほしい。 |

| 外部 | 自己 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (○印) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|------------------------------------|----|---|--|------|-----------------------------------|
| 3. 多機能性を活かした柔軟な支援 | | | | | |
| 17 | 39 | ○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている | 通院介助や買い物支援等、利用者・家族の要望に柔軟な支援をしている。 | | |
| 4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働 | | | | | |
| 18 | 43 | ○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している | 本人・家族の希望するかかりつけ医になっている。協力病院から月1度の往診・訪問看護師の来訪を受けている。気軽に助言や指導等が受けられている。 | | |
| 19 | 47 | ○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している | 入居時に重度化や終末期に向けての方針を家族と話し合い文書化してある。状態の変化に伴い、家族・かかりつけ医・訪問看護師・事業所等でその都度話し合い、意向を確認し納得のいく支援をしている。 | | |
| IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 | | | | | |
| 1. その人らしい暮らしの支援 | | | | | |
| (1)一人ひとりの尊重 | | | | | |
| 20 | 50 | ○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない | 利用者の誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけをしないようにしている。言葉かけには、時に雑に感じるような話しかけがあるが、利用者の生活歴を把握し、本人に合った言葉かけをし反応のよさを引き出すこともしている。 | | |
| 21 | 52 | ○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している | 基本的な一日の流れはあるが、その時の利用者一人ひとりの気持ちやペースを大切に過ごしてもらっている。 | | |

| 外部 | 自己 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (○印) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|--------------------------------------|----|---|--|------|--|
| (2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援 | | | | | |
| 22 | 54 | ○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている | 利用者はテーブルを拭く・配膳・下膳をする等に参加をし、職員とともに食事をしている。職員は食事の支援を行いながら、楽しい雰囲気づくりも大切にしている。 | | |
| 23 | 57 | ○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している | 職員が決めた入浴日ではあるが、希望やタイミングに添って支援をしている | ○ | 希望やタイミングに合わせた入浴を支援するには、週2回の入浴日では希望やタイミングに合わせることの困難さがある。職員のローテーションの工夫等を行い入浴支援の検討をしてほしい。 |
| (3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援 | | | | | |
| 24 | 59 | ○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている | 配膳、下膳、テーブルを拭く、花の水遣り、玄関、居室の掃除、洗濯物を干す、たたむ等の役割や外食、茶会、裁縫、書道、げんきプリント等の楽しみ、ドライブ(今の時期はイルミネーションを見る)、花見、初詣、買い物等も機会を見て行っている。 | | |
| 25 | 61 | ○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している | 敷地内の散歩や玄関先でお茶をする、歌を唄う、買い物、ドライブ等にでかける機会をつくり季節を感じてもらっている。 | | |
| (4) 安心と安全を支える支援 | | | | | |
| 26 | 66 | ○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる | イベント等で人手がある時は玄関の鍵を開放しているが、日常は施錠している。家族からは安全確保のために鍵をかけることが要望されている。 | ○ | 利用者一人ひとりのその日の気分や状態を把握し、職員間で見守りを行い、安全面に配慮し日中鍵をかけないで支援をしていくようにしてほしい。 |
| 27 | 71 | ○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている | 運営推進会議で地域の方に協力依頼をしている。パトライトの設置を行ない、外部に知らせ協力が得られるようにしてある。年2回利用者とともに避難訓練を行っている。 | | |

| 外部 | 自己 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (○印) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|---------------------------|----|---|--|------|-----------------------------------|
| (5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援 | | | | | |
| 28 | 77 | ○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている | 食材は業者に依頼し、献立は栄養士が栄養バランスを考慮し作成しており、調理は職員が行っている。利用者の好みは外食時に希望を入れている。食事・水分の摂取状況を毎日記録し、職員が情報を共有している。 | | |
| 2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり | | | | | |
| (1)居心地のよい環境づくり | | | | | |
| 29 | 81 | ○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | 畳みコーナー、ソファ、観葉植物、クリスマスツリー、利用者の書いた書等が飾られており、生活感や季節感があり居心地のよさがある。 | | |
| 30 | 83 | ○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもを活かし、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている | 炬燵、箆筒、衣装箱、テレビ、運動器具、ソファ、趣味の絵の道具、家族写真等の馴染みの物が持ち込まれ、居心地のよさに配慮されている。 | | |